

2019年6月		
筆者	所属	農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所 畑地利用研究室
	職名及び氏名	研究員 山下雅大
題名	秋どりコカブの優良品種の選定	

千葉県のコカブは、作付面積が全国第1位の941ha（平成29年）で、県内では柏市と香取郡東庄町を中心に作付されています。複数の作型を組み合わせた周年栽培の中でも、秋どりコカブは作付面積が多く、主要作型に位置付けられています。産地では、収量及び外観品質が良好なことに加えて、葉柄が強く収穫調製作業のしやすい品種が望まれています。そこで、秋どりコカブの優良品種を選定することを目的に、農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所（香取市）において、第65回千葉県野菜品種審査会（主催：千葉県、（一社）日本種苗協会千葉県支部、（公社）千葉県園芸協会）が開催されました。

審査会には11品種が出品され、平成29年9月22日に播種し、播種直後から、目合い0.4mmの防虫ネットをトンネル被覆しました。

栽培期間中の気温は概ね平年並みに推移しましたが、10月下旬は台風接近の影響で平年よりも降水量が多く、日照時間が少なくなりました。また、強風や強雨で葉折れ等の被害もありましたが、根部の肥大は順調に進んで平年並みの収穫時期となりました。

11月15日に草姿、根部の肥大性や外観品質等について審査した結果、葉柄が強く、根部の形状、つまりや揃いが良好な3品種「雪牡丹」（（株）武蔵野種苗園）、「MSK-1194」（同）、「KS546」（株）トーホク）が入賞しました。1位の「雪牡丹」（写真）は特に根部の揃いや肥大が良く、収量性に優れていました。また、2位の「MSK-1194」は葉色の濃さが際立ち、立毛審査で高い評価を得ました。今後、産地への普及が期待されます。



写真 第1位を受賞した「雪牡丹」